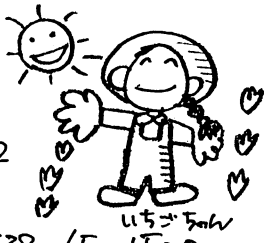
はるっこだより

病児保育所 はるっこ

2016 夏号



2016.7.8

七飯町本町6丁目7-42
はるっこでもクリニック隣
はるっこ ☎0138-65-1500

おいしいごはんは子どものからだをつくります。そして、楽しいと感じる気持ちは、子どもの心をつくっているように思います。楽しい時の子どもは、瞳がキラキラになってまるで「楽しい」をパクパク食べているみたい。おいしいものを食べている時のように、目をキラキラさせてからだじゅうで味わっているようです。はるっこで感じる「楽しい」は、回復に向うための最良の薬ですね♪

はるっこ ある日のスナップ ～日常のひとこまをお伝えします

「ママのみてるから」

Aさん(4才)は、お人形の赤ちゃんのズボンを着替えさせる時、ズボンのすそから手を入れて上手にお人形の赤ちゃんの足を通していました。

保育士「上手だね」

Aさん「ママのみてるから」

(Aさんには妹と弟がいるんです)

「はさみって楽しいね～」

Dさん(5才)はお父さんへの手紙をつくるのにはさみで自由自在に紙を切りながら

「はさみって楽しいね～」

いないないばあ

おんなじ1さいのFくんとGくんはままごとのザルでいないないばあ～

お弁当

Hくん(6才)

お弁当のふたをあけて

「あ！おれの好きなものばかり♪」

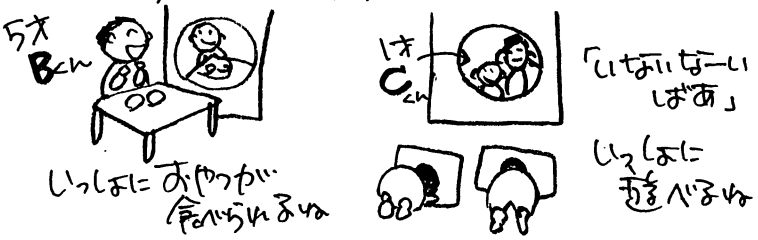
昨日はおにぎりに自分でまいたのりが今日は見当りません。おかずとおかずの間を指で探して

「お母さん ここに隠したんじゃない？」その笑顔!!!

お母さん大好きの気持ちも栄養になってますね♪

「こうすれば一緒だね♪

はるっこでは病気ごとにお部屋が別々になることがあります。お部屋の戸には丸い窓があります。ほら、こうすれば…



お散歩

「これだと、自分だと思ってちょうちょくるんじゃない？」

Eさん(5才)は、虫かごをつくりながら、そこにちょうちょの絵を描いてはいました。そして きゅうすみ緑地(向いの緑地)で「あ！あっちに花咲いてる」「小さい虫いる！」「これ何だ？」と次々発見しています。保育士が「Eちゃんよく見つけるね」と感心して言うと「ちゃんと目でみてるから♪」

小さい花が次々咲いてるところではつま先でチョンチョンと歩いているのは「だってお花かわいそうでしょ」

「世界がみえた」

Iくん(6才)はサッカーで色んな蹴り方を編み出していました。そして自分でくるんと回っているとき

「回転すると世界がみえた」

はるっこ畑

今年はるっこ畑にはシャガ芽、人参、枝豆、レタスが植えてあります。そう！収穫できたらおうちでカレーライスもつくってくださいね～。クリニックの往診の帰りにでも畑をみにきてください。お楽しみに♡

ご感想、なんでもスタッフまで